

生涯学習推進計画の進捗状況に係る資料（内部評価用）（案）

資料7

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
1	①人づくり	1. 家庭教育支援の充実	1-1-1	地域支援者養成講座・子育て支援講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度地域支援者養成講座を1回開催、参加者は22名。 子育て支援講座を2回開催。参加者は90名。 本年度は、地域住民が子育てに関心を持ち、積極的にかかわろうとする意識を培い、「地域の担い手」を育成することを目的に講座を開いた。 幅広い世代からの参加があった。アンケート結果からは、「子どもとの時間を大切にしたいと思った」「大変参考になった、また参加したい」などの声を多く聞くことができた。 	B	幅広い世代からの参加があり、アンケートの結果からも前向きな意見が多くみられたが、参加者数が少ない講座もあったため、周知等が不十分であったと感じる。
2	①人づくり	1. 家庭教育支援の充実	1-1-1	保護者間のつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育支援チームによる講座を87回開催（就学時健診含む）。 保護者同士のつながりづくりを中心に講座を展開した。 特に就学時健診時のワークにより、知り合いのいない保護者にとっては不安が軽減されたとのアンケート結果も得た。 	A	今年度も、昨年と同様の数の講座依頼が見込まれている。就学児健診では、「初めて顔を合す保護者と交流できてよかった」「近所に同じ年の子がいると思うと安心できた」など就学児健診を通じて保護者同士の繋がりがづくりが講座を通じ行えた。
3	①人づくり	1. 家庭教育支援の充実	1-1-4	家庭訪問の実施	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問は12家庭（うち5家庭は訪問終了） 家庭訪問実施件数は75件（ケース会議は3回） 	A	今年度に入り、新規の個別相談が8件あった。広報及び福祉部局との連携強化により前年度より訪問過程を増やすことができた。
4	①人づくり	1. 家庭教育支援の充実	1-1-4	子育て・親支援講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育支援チームへの各園・各校・公民館等からの依頼に基づき講座（就学時健診含む）を開催した。 保護者同士のつながりづくりを実施した。 前年度に引き続き、保育園・幼稚園・小学校・公民館等から講座の依頼があり、アンケート結果からは「息抜き時間が持てた」「いいリフレッシュになった」などの意見が多く聞くことができた。 	A	様々な講座を展開することで多くの方々に参加していただくことができ、保護者同士のつながりや情報交換、不安解消につなげることができた。また、講座から個別相談へとつながったケースもあった。
5	①人づくり	1. 家庭教育支援の充実	3-4-1	「家庭教育支援相談室」の活用	<ul style="list-style-type: none"> 橋本市子どものための教育福祉連携会議や家庭教育支援チームへスティアによる会議、個別相談などで「家庭教育支援相談室」を使用した。 各団体の使用回数合計：170回 【部屋の稼働率】 170回÷365日＝46.6% (使用回数合計/日数) 	D	部屋の稼働率は46.6%と目標値よりも低い結果である。家庭教育支援チームの利用がほとんどの中、その他の会議等についての利用があまり見られていないと感じる。
6	①人づくり	2. 子どもの社会性の育成	1-1-2	非行防止活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校・警察・青少年センター連絡協議会及び橋本市青少年補導員会と連携し22回の補導活動を実施した。 	B	各学校及び関係機関と連携し、補導活動ができた。

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
7	①人づくり	2. 子どもの社会性の育成	1-1-3	立ち直り支援の充実	・立ち直り支援、精神的な安定を大切にした召致指導を9回のべ3人に対して実施した。 ・継続的な指導を実施することで、青少年だけでなく保護者にとっても精神的な安定を得られる場所になっている。	B	・継続的な立ち直り支援を含め、青少年・保護者への指導助言をおこなった。
8	①人づくり	2. 子どもの社会性の育成	1-1-3	環境浄化活動の実施	・有害図書（雑誌・DVD等）128点、一般図書64点回収し処分した。	A	・4つの駅を中心に月に一度回収し処分をした
9	①人づくり	2. 子どもの社会性の育成	1-2-2	学校における人権教育の充実を図り、学級等の集団づくりの充実に努めます。	学校における人権教育の充実	A	・全小・中学校において人権教育全体計画を作成し、各校の状況に応じて重点課題を定めて人権学習の充実を図ることができた。 ・人権教育副教材「しあわせ」をはじめとする教材・資料を活用するとともに、外部人材からの講話や体験活動等をととして人権学習を進めることができた。
10	①人づくり	2. 子どもの社会性の育成	1-3-2	青年リーダーによる研修会の開催、次世代の青年リーダー候補の育成	青年リーダー40名 中学生ボランティア40名 引き続き事業として「子ども冒険村」「ジュニアリーダー研修会」を実施する。	C	・青年リーダーは概ね会員数を維持できたが、中学生ボランティアが減少した。昨年度、中学2年生、1年生だった会員が今年度継続されていない会員が多かった。中学生ボランティアのモチベーションを向上させるために、青年リーダーとともに活動する交流会と研修会を実施したが中学生の参加者が少ない。今後、改善していきたい。
11	①人づくり	2. 子どもの社会性の育成	1-5-1	「子ども冒険村」等の自然体験事業の実施	・青年リーダーの経験者が増えたことにより、定員を55→60名に増やした。 ・申込者74名を定員60名に抽選した。体調不良のため1名不参加となり59名が参加した。 ・昨年に引き続き熱中症対策をし、参加者の健康と安全を最大限考慮した運営をおこなうことができた。	A	・暑さ指数の計測しながら、伊都看護師協会の協力のもと健康と安全面を重視した対応をとることにより、自然体験の事業を実施できた。
12	①人づくり	3. 成人期における学びの推進	1-2-1	人権プロジェクトによる人権教育啓発資料の作成	・人権教育啓発資料について人権・男女共同推進室と連携して作成。平成31年4月に全戸配付した。	A	・作成資料を全戸配布することで、橋本市全体に啓発の機会を作ることができた。
13	①人づくり	3. 成人期における学びの推進	1-2-4	各地区公民館にて講演会や映画上映会への参加数	・各地区公民館で人権講演会・映画上映会を共催で開催し、多数の参加者があった。 人権講演会(紀見) 164名 人権講演会(学文路) 109名 映画上映会(隅田) 157名 人権講演会(橋本) 73名 人権講演会(紀見北) 60名 人権講演会(山田) 42名 人権講演会(恋野) 81名 映画上映会(高野口) 312名 合計:998名	A	・講演会や映画上映会を開催し、参加者の人権意識の高揚に繋がった。
14	①人づくり	3. 成人期における学びの推進	1-4-2	橋本市民総合文化祭の開催及び参加者数	・令和元年11月2日～4日の3日間にわたり、橋本市民総合文化祭を開催し、約2,000人の来場者数を得た。	B	・概ね例年と同様の来場者数を得た。

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
15	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	1-4-3	市民の健康の増進及び、体育の向上を図る取り組み	・平成30年度における施設利用者数は、無料施設で104,591人、有料施設で172,859人であったのに対し、令和元年度の施設利用者数は、無料施設で133,234人、有料施設で159,161人であった。	B	・新型コロナウイルスのより、屋内施設の利用を停止したため利用者数が減少した。
16	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	1-4-3	ジュニア駅伝上位入賞に向けた取組	・11月と12月は、土・日曜日に練習を実施。1月と2月は水・土・日曜日で練習を実施。 ・第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会（2月16日開催）に出場し、県内29市町中第6位の成績であった。	B	順位は目標の3位までは一步届かなかったが、1時間12分45秒というタイムでの入賞となった。大会順位は、その時々や他の市町の状況に左右されるため、大会順位という結果だけでなく、大会までの練習やその取り組みをいかに効率よくかつ充実できるかを考えていく。
17	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	1-4-3	橋本マラソンの参加人数拡大への取組	・エントリーは1,350人であった。	C	・マラソン大会の種目、コース等全体的に見直しを検討する必要がある。
18	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	2-5-2	中央並びに地区公民館のスポーツ大会や健康増進行事への参加者数	・各公民館でのスポーツ大会や健康増進行事への参加者数は例年並みとなった。市民グラウンドゴルフ交流会への参加は326名で、前年比の3%減であった。	B	今後も引き続き事業に取組んでいく。
19	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	2-5-2	市民ニーズに応じたスポーツをし易い環境整備	・前畑・古川記念プールのコースロープを更新した。 ・老朽化した橋本市運動公園高圧受電設備の修繕を実施した。 ・雨漏り等の影響で落下の可能性のあった伏原体育館の天井パネルの修繕を行なった。	B	・施設の老朽化が目立つようになってきており、整備不良が原因で利用者及び職員が怪我することのないよう環境整備を行なった。
20	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	2-5-2	スポーツイベントを通じた地域交流の促進	・第23回橋本マラソン大会を開催する。 ・スポーツ少年団・体育協会などの団体と連携を取りスポーツイベントを開催した。	A	・参加者だけでなく多くのボランティアスタッフまた沿道からの応援者とともに一体となり橋本マラソンを盛り上げた。
21	①人づくり	4. 健やかな心身を育むスポーツの推進	2-5-2	身体能力や技術力の向上を目指す組織作り	・スポーツ推進委員の協力のもとスポーツ少年団体力テストや市のスポーツイベントに取り組んだ。 ・スポーツ少年団理事会・総会等を開催。体力づくり&交流会、研修会等も実施し、指導者、団員の育成に努めた。	A	・今後もスポーツ推進員と連携しスポーツ少年団体力テストを実施する。
22	②わづくり	1. 人を活かす	2-5-1	市民ボランティアへの支援	・地区公民館運営委員の総数は、8地区公民館合わせて407名にものぼる。各地区公民館とも事業に運営委員が事業を企画し、精力的に実施した。	A	・多数の運営委員の方々が、地区公民館事業に参画していただいた。
23	②わづくり	1. 人を活かす	2-7-1	ボランティアの活用	・学校図書館ボランティアの方に向け、情報提供や研修の機会をもつ。 ・ボランティアの訪問日と学校司書の勤務日を重ねることで、仕事内容の役割分担もできており、協働した活動ができてきている。学校を中心として、学校司書とボランティアの連携のための工夫（連絡ノート等）を行っている。（連絡ノート等） ・図書ボランティアの方に向けた研修を3月5日に予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。	A	・2月に、図書ボランティアの方に向けた研修を開催予定。 ・さらに連携協働を進めていくためには、連絡ノートでのやり取りだけでなく、学校・学校司書・ボランティアが一同に会した打ち合わせ会等を実施していくことが有効であると考えている。

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
24	②わづくり	1. 人を活かす	3-1-1	地域共育コミュニティ形成促進事業	・地域の方への周知のために、共育コミュニティのチラシを作成し、地域支援者養成講座などで配布をした ・ボランティアの方に向けた学校支援のまとめを作成済み	B	・事業を継続するためには、幅広い年代の方に活動を知ってもらう必要があるため、今後も共育コミュニティについて周知をはかっていく。
25	②わづくり	1. 人を活かす	3-1-1	放課後子ども教室推進事業	・実施延べ回数 461回 ・参加児童延べ人数 7,708名（R2.2月集計時点） ・地域の方への周知のために、ふれあいルームのチラシを作成し、地域支援者養成講座などで配布した ・共育、ふれあいルームのコーディネーター間の情報共有のため相互の会議録を配布している。	B	・子どもたちの安心安全な居場所としての放課後ふれあいルームの運営には学校・地域の協力が不可欠な為、ふれあいルームの周知をさらにはかっていく。
26	②わづくり	1. 人を活かす	3-1-1	こどもの居場所づくり事業	・実施延べ回数 61回 ・参加児童延べ人数 770名 ・小学校3箇所、中学校1箇所、公民館1箇所を実施	B	・平成30年度から隅田中学校での学習支援が始まる。ボランティアや参加者の確保に苦慮しているところもあるため、事業の案内・募集方法を検討していきたい。
27	②わづくり	1. 人を活かす	3-2-1	学校運営協議会の本格的な実施	各学校のニーズに合わせた特色ある取組みをすすめられた。	B	・各学校は、本格実施初年、試行錯誤の中、特色ある取組みができた。
28	②わづくり	1. 人を活かす	3-2-4	市民ボランティアの活用	・地区公民館運営委員の総数は、8地区公民館合わせて407名にもものぼる。各地区公民館とも事業に運営委員が事業を企画し、精力的に実施した。	A	・多数の運営委員の方々、地区公民館事業に参画していただいた。
29	②わづくり	2. 地域での学び	1-4-2	県展橋本展への参加者数	・令和元年12月7日～11日の5日間に渡り、県展橋本展を開催。834人の来場者があった。	B	・概ね例年と同様の来場者数を得た。
30	②わづくり	2. 地域での学び	1-6-2	「ふるさと学習」の充実	・年間カリキュラムにそって、各学校で「ふるさと学習」が行われた。学校によっては、各地域の特色あるふるさと学習が行われており、地域おこしにも役立ったところもあった。	B	・小学校においては、地域学習が盛んであり、ふるさと学習ができてはいるが、中学校においては、授業時間の確保が難しい現状がある。
31	②わづくり	2. 地域での学び	2-2-2	「すこやか橋本 まなびの日」イベント内容の充実と多くの参加者の確保	・令和元年度「第11回すこやか橋本 まなびの日」の当日参加者は2,838人。 ・前日準備、当日の運営、後片付けに各参画団体から多くのスタッフが参加していただいた。	B	・参画団体が6団体減、2団体増となり、当日参加者が前年度より200名程度減少したが、市と市民の協働をさらに進めるきっかけとなる年となった。
32	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	2-2-1	地域を創る話し合いの場づくりの積極的な展開	・共育ミニ集会を各地域で実施。 ・共育コーディネーターに対する研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 ・紀見地区公民館の「4校交流会」、学文路地区公民館の「カフェマルシェ」等を行なった。	B	・共育ミニ集会については、各地域で実施。また2月に共育コーディネーターの研修を予定している。 ・テーマが各館にて多少異なったが、概ね実施できた。
33	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	2-6-1	総合的な学習の時間の実施状況把握と指導の充実	・管理職と研究主任を対象に「ESD研修会」を開催した。学校の核となる方に参加していただき、ESDの理論や体験学習等を学ぶ機会が持てたことは成果があった。 ・研修会を実施したことで、ESDを核とした総合的な学習の時間の年間計画を作成できることを学べた。	B	・研修に参加することにより、ESDの視点で総合的な学習の時間を計画・実施することができるようになってはいる。

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
34	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	2-6-2	ESDを推進するため、研修会等の実施	・民間企業、シルバー人材センター、スポーツ少年団、ボーイスカウト等の各種団体の協力のもと紀の川河川敷の清掃活動を実施した。清掃活動の後、子ども達を対象とした水生生物調査を予定していたが、台風による増水の影響で中止した。	B	・河川の清掃活動を通して、環境に関する取り組みを行うことができた。
35	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	2-6-2	ESDを推進するため、研修会等の実施	・管理職と研究主任を対象にESD研修会を実施した。 ・奈良教育大学におけるESD成果発表会・実践交流会に参加した。	B	・ESD成果発表会・実践交流会に参加した学校もあつたが、ESDに取り組んでいる学校が4校と少ない。もっと市全体に広める必要がある。
36	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	2-7-1	学校図書館の開放日数・時間の確保	・毎日学校図書館を開放している学校は約80パーセント。それ以外の学校でも週に2～4日開放されており、前年度に比べ開放されている日数は増えている。	B	・今後は長時間開放していけるよう各学校とともに考えていきたい。（学校司書やボランティアの活用） ・学校図書館の管理という面からすると、学校図書館を終日開放することは難しい部分がある。しかし、学校図書館はいつでも開いているという感覚を学校に意識してもらえよう働きかけていきたい。
37	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	3-3-2	登下校時の見守り活動の実施	・令和元年度の見守りボランティア登録者は、486名。	B	・防災行政無線を活用しながら、多くの見守りボランティアの方々が街頭に立たれて、子ども達の安全を確保した。
38	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	3-3-2	子どもを守るための啓発活動・講演会の実施	・橋本中央中学校区…共育ミニ集会、令和元年8月10日、77名参加 ・紀見東中学校区…講演会、令和2年2月12日 ・紀見北中学校区…講演会、令和元年12月11日 ・高野口中学校区…教育講演会、令和元年10月7日、151名参加 ・隅田中学校区…共育コミュニティ集会、令和元年12月7日、約480名参加	A	・各中学校区で講演会等を開催し、多数の方が参加された。
39	②わづくり	3. 連携ネットワークを目指した新たな行政の仕組みづくり	3-4-2	学童保育の充実	・橋本小学校、境原小学校、高野口小学校において、学童利用者が増加しており、令和2年度以降も待機児童を生じさせないために、学校と協議の上、放課後に教室を開放してもらうこととした。 ・三石小学校において、学童利用者が増加しており、令和2年度以降も待機児童を生じさせないために、学校と協議の上、専用教室を用意した。	A	・施設不足の解消のために上記のとおり取り組み、待機児童はゼロとなっている。

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
40	③環境づくり	1. (1) 社会教育施設 公民館	2-2-3	地域住民がふれあえるイベントの実施数	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館で盆踊り・夏祭り等を開催し、多くの参加者が集い、地域交流に繋がった。また、各地区公民館においては、歴史等をテーマにふるさと散策イベントを実施し、地域の歴史を学ぶ機会を提供することができた。 伊都地方文化祭は伊都地方の小中学校主催で開催され、貸館業務に寄与した。 3月7,8日に開催予定であった第14回橋本市公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく中止となった。 	B	・公民館まつりは、開催に向けて万全の準備をしていたが中止となった。他の事業は実施することができた。
41	③環境づくり	1. (1) 社会教育施設 公民館	3-3-3	「おもしろ算数・数学教室」、「低学年のための親子算数教室」、「岡潔博士顕彰事業」、「低学年のための親子科学教室」の開催	<ul style="list-style-type: none"> 「おもしろ算数・数学教室」6回開催、参加者13名 「低学年のための親子算数教室」6回開催、参加親子128名 「岡潔博士顕彰事業」講演会を開催、187名の来場者 「岡潔博士顕彰事業」囲碁大会を開催、参加者31名 「岡潔博士顕彰事業」将棋大会を開催、参加者23名 「低学年のための親子科学教室」9回開催、参加親子120組 	B	・子どもたちが数学や科学へ興味関心を持てる事業を継続的に実施する。
42	③環境づくり	1. (1) 社会教育施設 公民館	3-3-3	橋本市民大学いきいき学園などの開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の講座では学生自身が講師になる機会はなかったが、各学年のホームルーム等で学生同士が、相互学習の場を作っていた。 	B	・概ね達成できたが、次年度は学生が主体となった取組を実施していきたい。
43	③環境づくり	1. (1) 社会教育施設 公民館	3-3-3	グラウンドゴルフ大会やハイキングなど、スポーツ・レクリエーションの開催	<ul style="list-style-type: none"> 9月19日開催の橋本市民グラウンドゴルフ交流会には、326名もの参加があった。 ソフトバレーボール大会等のスポーツ・レクリエーション事業には、若年層の参加が多かった。 	A	・橋本市民グラウンドゴルフ交流会は、本市の秋のイベントとして年々定着してきた。
44	③環境づくり	1. (2) 社会教育施設 図書館	2-7-2	資料の収集・整理・保存	<ul style="list-style-type: none"> 話題の本をはじめ、季節や行事を考慮し、多年齢層を対象とした資料の収集に努めた。 地域の民俗に関する貴重な資料の製本・デジタル化を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 季節や話題の本のコーナー設置により利用者への資料提供をした。 市民の協力により、「高野山麓橋本新聞」の収集に向けた取り組みを終え、引続き地域資料としてスクラップを作成し公開している。
45	③環境づくり	1. (2) 社会教育施設 図書館	2-7-2	主催行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「納涼お話し会」は年々参加者が増加しキャパをはるかに超えてきたため、整理券の配布により開催したところ、いつもよりゆったりと聞いて頂けた。 多種にわたった内容の講座開催に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象としたお話し会が充実してきている。 市民の図書館活動に対する関心の高まりが感じられる。
46	③環境づくり	1. (2) 社会教育施設 図書館	2-7-2	子どもたちの読書へのきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> 「第3回橋本市図書館を使った調べる学習コンクール」に市内小中学校14校及び、大人1名より作品が提出された。 ビブリオバトル中高生県予選大会を九度山町・高野町・橋本市共催で開催出来た。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「調べる学習コンクール」応募作品数は、数校について事前審査済み作品を提出いただいたこともあり数は297点であったが、秀作が多く、内2作品は全国大会で優良賞を受賞した。 ビブリオバトルは、バトラー参加が高校生のみで、中学生の参加が得られなかった。

生涯学習推進計画			教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和元年度）				
No	章名	節名	点検評価番号	指標名	令和元年度実績	評価	評価理由
47	③環境づくり	1. (2) 社会教育施設 図書館	2-7-2	ボランティアの支援を募る	・市内高校の図書部員が定期的に放課後、配架ボランティアをしてきている。 ・一部主催行事のボランティアは固定して参加がある。	C	・ボランティアの募集ができなかった。
48	③環境づくり	1. (3) 子ども館・児童館	1-1-5	児童健全育成の場としての各種事業の実施	・各児童館の事業参加者は、 きしかみ子ども館 2,335名 はらだ子ども館 949名 友愛児童館 1,219名 名古屋児童館 2,221名 移動児童館・体育館 549名 授業 582名 夏休みこどもまつり 626名 ・各館で特色のある事業を企画し、年間計画を基に季節の行事や手作り教室・クッキング・遊び等の様々な催しを実施した。 ・移動児童館では、体育館実施・授業での季節の手作り教室共に市内の全14小学校で実施し、学校との連携も深まった。 ・子ども読書推進計画に基づき、図書室の環境を整えることができた。	A	・子どもの安心安全な居場所であり、乳幼児から中高生世代・大人までの誰もが楽しく過ごせる児童館であるように環境を整え、切れ目のない支援ができる児童館として活動し、各館の事業に加え、学校に向く移動児童館等の事業も全小学校で開催することができた。また、今年のテーマに沿って、地域との交流を大切にし、子どもにとって貴重な体験をすることもできた。
49	③環境づくり	1. (4) 資料館等	1-4-1	郷土資料館における、地域学習の場としての各種事業の実施	・企画展示、講座等を実施し、令和元年度の利用者数は4,782人。	B	地域に根ざした企画展示・講座等を開催し、参加者から評価を得ている。 (例年に比べ利用者数が減少しているが、3月に開催している雛人形の展示が新型コロナウイルス感染症予防対策のにより中止となったためである)
50	③環境づくり	1. (4) 資料館等	1-4-1	あさもよし歴史館における、文化財(考古資料)への関心の向上および理解の深化のための各種事業の実	・企画展示、講座、体験学習等を実施。令和元年度の入館者数は調査中(R2.4.28時点)	B	・テーマを定めて企画展示・講座の開催に取り組んでいる。特に、夏の勾玉づくり等の体験学習は多くの参加者から好評を得ている。
51	③環境づくり	1. (4) 資料館等	1-6-1	(仮称)岡潔記念館の整備	・岡潔顕彰寄附金として7名の方から合計金額65,000円の寄附金をいただいた。	B	・クラウドファンディング含め、寄付をいただいた。
52	③環境づくり	1. (4) 資料館等	1-6-1	岡潔博士顕彰事業の推進	・岡潔博士の関係者を招いた講演会を開催し、187名の来場があった。	B	・例年と同様の来場者数を得た。
53	③環境づくり	2. 文化財の保護・活用	1-4-1	指定文化財及び埋蔵文化財の保護活用の推進	・文化財指定等件数は世界遺産1件、国指定4件、国登録24件、県指定30件、市指定67件。	A	・市指定の柏原文書が県指定文化財となった ・利生護国寺山門が国の登録文化財となった。
54	-	-	1-5-1	希少種保護と環境学習の推進	・天然記念物としてヒメタイコウチ生息地が指定されている自治体に施策について調査するとともに、市文化財保護審議会にこれを報告し、その方策について審議いただいた。今の段階では経過を観察していくことが望ましいとの審議会意見を受け、毎年生息調査を実施している。	B	審議会の意見に基づき、継続的に生息調査を実施している。